

Course number		U-LAS07 10007 SJ31						
Course title (and course title in English)	現代日本の社会問題 Social Issues in Contemporary Japan				Instructor's name, job title, and department of affiliation	Part-time Lecturer,SAKODA SAYAKA		
Group	Humanities and Social Sciences			Field(Classification)	Understanding Japan			
Language of instruction	Japanese			Old group	Group A		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1		Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・First semester	
Days and periods	Thu.3		Target year	1st year students		Eligible students	International students	
[Overview and purpose of the course]								
現代日本の社会問題について、人口構造・ジェンダー・雇用・不平等に焦点を当てて、その歴史的変遷と現状を把握する。家族・市場・政府の機能がどの様に失われ、現代社会にいかなる歪みをもたらしているかを考える。								
[Course objectives]								
1. 現代日本の社会問題を、統計資料や公文書等を経済学・社会学の手法を用いて分析し、理解する。								
2. 現代日本の社会問題を諸外国の社会問題と比較することで、現代日本社会の特徴を理解する。								
[Course schedule and contents]]								
基本的に以下の順序で講義を進める。ただし講義の進み具合に応じて、講義の順番や回数を変更することがある。								
人口問題								
第1回 人口ピラミッドとその変遷								
第2回 少子高齢化社会の制度設計								
第3回 晩婚化・未婚化								
第4回 学生発表（本国との比較）・ディスカッション								
ジェンダー論								
第5回 女性の社会進出の歴史								
第6回 家庭における役割分業：専業主婦・専業主婦志向 諸外国との比較								
第7回 ジェンダー意識と結婚行動								
第8回 学生発表（本国との比較）・ディスカッション								
格差社会								
第9回 日本の経済格差（1）								
第10回 日本の経済格差（2）								
第11回 学生発表（本国との比較）・ディスカッション								
労働問題と若年層の社会参加								
第12回 日本の労働形態（非正規雇用・フリーター・ニート）とその問題								
第13回 貧困								
第14回 社会的排除（ひきこもり）								
《学生発表（本国との比較）・ディスカッション》								
第15回 フィードバック								

Continue to 現代日本の社会問題(2)								

現代日本の社会問題(2)

[Course requirements]

日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。

[Evaluation methods and policy]

ディスカッションへの参加度（30％）および期末レポート（70％）

[Textbooks]

毎回プリントを配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）

橘木俊詔 『日本の経済格差 所得と資産から考える』（MIT press）ISBN:978-4004305903

橘木俊詔・迫田さやか 『夫婦格差社会』（中央公論新社）ISBN:978-4121022004

小熊英二 『日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学』（講談社）ISBN:978-4065154298

[Study outside of class (preparation and review)]

参考文献をもとに予習・復習してください。

[Other information (office hours, etc.)]